職業実践専門課程等の基本情報について

<u>学校名</u> 大阪アミューズメン				3 🗆 📗	坊」	長名			所在地	1		
	トメディア		置認可年月 世20年4日					532-0011				
専門学校			成28年4月			憲司		大阪府大阪市淀川 06-6885-601	0			
設置者名		設:	立認可年月	日	代表	者名	=	532-0011	所在地	!		
学校法人吉田	学園	平月	成28年2月	2日	吉田	東吾	(住所)	大阪府大阪市淀川		番19号		
分野		認定課程名	Ž	13 DC	忍定学科名	ž	(電話)	06-6885-601 引士認定年度	高度専門士認	定年度	職業実践専	専門課程認定年度
文化・教養	文化	・教養専門	謂程	キャラクタ	ターデザイ	イン学科	平成	29(2017)年度	-		令和	6(2024)年度
学科の目的	キャラクタ-	ーデザイン	を中心にグ [:]	ラフィックデザイ	イン、イラン	ストレーション	を学び、キャ	ァラクターデザイナー、	イラストレーターとし	て活躍できる	知識と技能を	修得する。
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	キャラクター	ーデザイン、	、イラストレ・	ーション、グラフ	フィックデキ	ザインのスキ	ルを活用でき	る職種・業種で活躍	できるよう、作品制作	の実践に力点	点を置き、進路	各指導を行う。
修業年限	昼夜	全課程の		を な総授業時数 位数	女又は総	講	義	演習	実習	実	E 験	実技
2		※単位時間、 かに記入	、単位いずれ	1,710 単		150) 単位時間	1,560 単位時間	0 単位時間	0	単位時間	0 単位時間
年		S-TC-BL/C		単	i位		単位	単位	単位		単位	単位
生徒総定員	生徒到	€員(A)	留学生	数(生徒実員の内	_{数)} (B)	留学生割	合(B/A)	中退率				
160 人	137	人		2 人	(0) %	12 %	1			
	■卒業者		:		52		Ż.		_			
	■就職布	望者数(D 数(E)	<u>)) :</u> :		37 34							
	■地元就	職者数(F)		20		人					
	■就職率 ■就職者		元就職者0	D割合 (F/E)	92		%					
					59		%					
			職者の割合	î (E/G)	65		%					
	■進学者				0		人					
就職等の状況	■その他 フリーラン		一時的な仕	事に就いた都	者:13名、	就職活動継	続:3名					
			左座女类者	の問より会和	7 45 - 1	1 口吐上の棒:	±17 \					
	(令和 ■ 主 た就)	6 職先、業界		fに関する令和	7年5月]	1 日時息の情	平收 <i>)</i>					
	(令和6年度		, 4									
	株式会社	ジーン、株	式会社サ	ファリゲームス	ズ、Studio	R 株式会社	性、イートレ	ックトライズ株式会社	t、株式会社ヨコタエ	ンタープライ	イズ、株式会	社Play tech、オノ・
				土、株式会社で 株式会社ま			会社平山、	株式会社ハードオフ	コーポレーション、ホ	朱式会社3=	1タエンターブ	プライズ、株式会社
					んだらい	וגאי						
			等から第三 下について任					無				
第三者による 学校評価												
, ,,,,,,,,								30	原価社里を掲載した			
		評価団体:				受審年月:			呼価結果を掲載した マームページURL			
当該学科の		計価団体:				受審年月:						
ホームページ	https://w		c.jp/chara/	,		受審年月:						
		ww.amg.ac		,		受審年月:						
ホームページ		ww.amg.ac	る算定)	,		受審年月:						
ホームページ		ww.amg.ac	る算定))単位時間	
ホームページ		ww.amg.ac	る算定) 数 うち企業等	等と連携した実		子・実技の授業				0	単位時間	
ホームページ		ww.amg.ac	る算定) 数 うち企業等	等と連携したほ 等と連携したぼ		子・実技の授業				60) 単位時間	
ホームページ		ww.amg.ac	る算定) 数 うち企業等	序と連携した写 序と連携した河 受業時数	寅習の授業	・実技の授 時数	業時数	7		0 60 1, 710)単位時間)単位時間)単位時間	
ホームページ		ww.amg.ac	る算定) 数 うち企業等	等と連携したほ 等と連携した消 受業時数 「うち企業等と	演習の授業 :連携した	子・実技の授: 時数 必修の実験	業時数・実習・実技	7		0 60 1, 710 0)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間	
ホームページ		ww.amg.ac	る算定) 数 うち企業等 うち企業等	等と連携した事 を連携した演 受業時数 うち企業等と うち企業等と	寅習の授業 ご連携した ご連携した	子・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習の	業時数 ・実習・実技 の授業時数	7		0 60 1, 710 0 60) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間	
ホームページ URL 企業等と連携した	(A:単位	ww.amg.ac	る算定) 数 うち企業等 うち企業等	等と連携したほ 等と連携した消 受業時数 「うち企業等と	寅習の授業 ご連携した ご連携した	子・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習の	業時数 ・実習・実技 の授業時数	7		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	(A:単位	ww.amg.ac 位時間による 総授業時 委	る算定) 数 うち企業等 うち企業等 うち必修授	等と連携した事 を連携した演 受業時数 うち企業等と うち企業等と	寅習の授業 : 連携した : 連携した	子・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習の	業時数 ・実習・実技 の授業時数	7		0 60 1, 710 0 60) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間	
ホームページ URL	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時養 立数による3	る算定) 数 うち企業等 うち企業等 うち必修授	等と連携した事 を連携した演 受業時数 うち企業等と うち企業等と	寅習の授業 : 連携した : 連携した	子・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習の	業時数 ・実習・実技 の授業時数	7		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 位時間による 総授業時 委	る算定) 数 うち企業等 うち必修技 (うち企う	等と連携した身 を連携した沙 受業時数 うち企業等と うち企業等と 業等と連携した	演習の授業 ・連携した ・連携した	引・実技の授: 時数 必修の実験 必修の演習の シシップの	業時数 ・実習・実技 の授業時数 授業時数)	7		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれ況	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時養 立数による3	る算定) 数 うち企業等 うち必修打 (うち企業 算定)	等と連携した身 等と連携した沙 受業時数 うち企業等と うち企業等と 業等と連携した	演習の授業 : 連携した : 連携した : インター 実験・実習	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の演習6 ・ンシップの4	業時数 ・実習・実技 の授業時数 授業時数)	7		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれ況	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時養 立数による3	る算定) 数 うち企業等 うち必修技 (うち企業 算定)	等と連携した身 等と連携した減 受業時数 うち企業等と うち企業等と 業等と連携した 等と連携した 等と連携した減	演習の授業 : 連携した : 連携した : インター 実験・実習	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の演習6 ・ンシップの4	業時数 ・実習・実技 の授業時数 授業時数)	7		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれ況	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時養 立数による3	る算定) 数 うち企業等 うち必修打 (うち企業 算定)	等と連携したほ 等と連携した活 受業時数 うち企業等と うち企業等と 業等と連携した 等と連携した活 単位数	東習の授業 ・連携した ・連携した ・ とインター ・ 実験・実習 ・ 実質の単位	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の演習の ・ンシップの ・ ・ 実技の単位 数	業時数 ・実習・実技の授業時数) 授業時数)	カ の授業時数		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれ況	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時養 立数による3	る算定) 数 うち企業等 うち必修技 (うち企業 算定)	等と連携したほ 等と連携した活 受業時数 うち企業等と すち企業等と 業等と連携した 等と連携した活 単位数 うち企業等と	東習の授業 ・連携した ・連携した ・連携した ・でインター ・実験・実習 ・連携した ・連携した ・連携した ・連携した ・連携した	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の演習。 ・ンシップの ・ ・ ・ 実技の単位 数 必修の実験	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技	カ の授業時数		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれ況	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時養 立数による3	る算定) 数 うち企業等 うち企業等 うち企か修 算定) うち企業等 うち企業等 うち企業等	等と連携したほう を連携したほう できる	東習の授業 ・連携した ・連携した ・連携した ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの ・ ・ ・ 実技の単位 ・ の を の 実験 必 を の 変数 と め を の ま る る め る め め め め め め め め め め め め め め め	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技の対象	カ の授業時数		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時養 立数による3	る算定) 数 うち企業等 うち企業等 うち企か修 算定) うち企業等 うち企業等 うち企業等	等と連携したほ 等と連携した活 受業時数 うち企業等と すち企業等と 業等と連携した 等と連携した活 単位数 うち企業等と	東習の授業 ・連携した ・連携した ・連携した ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの ・ ・ ・ 実技の単位 ・ の を の 実験 必 を の 変数 と め を の ま る る め る め め め め め め め め め め め め め め め	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技の対象	カ の授業時数		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時養 立数による3	る算定) 数 うち企業等 うち企業等 うち企か修 算定) うち企業等 うち企業等 うち企業等	等と連携したほう を連携したほう できる	東習の授業 ・連携した ・連携した ・連携した ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの ・ ・ ・ 実技の単位 ・ の を の 実験 必 を の 変数 と め を の ま る る め る め め め め め め め め め め め め め め め	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技の対象	カ の授業時数		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位 位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれ況	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時数 立数による3 総単位数	る算定) 数 うち企業等 うち企業等 うち企か修打 (うち企業 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	等と連携した実 等と連携した演 受業時数 うち企業等と すち企業等と 主護携した 等と連携した うち企業等と 連携した うち企業等と 連携した を を を を を を を を を を を を を	演習の授業 ・連携した ・連携した とは携した を験・実質の単位 ・連携した ・連携した ・連携した ・本連携した	・実技の授品 ・実技の授品 ・学技の単一 ・実技の単一 ・シシップの自 ・ 実技の単一 ・ 変数 ・ 必修の実験 ・ 必修の実験 ・ 必修の実験 ・ 必修の実験	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技の対象 ・実習・実対の単位数)	カ の授業時数		0 60 1, 710 0 60)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時委 総単位数	る算定) 数 うち企業等 うち企业修 (うち必修 算 うち企业を修 うち必必修 うち企业 うち企业 うち企业 うち企业 うち企业 うち企业 うち企业 うち企业	等と連携したほう を連携したほう できる	演習の授業 ・連携した ・・連携した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一・実技の長! 時数 必修の実験 必修の演習 ・・実技の単位 ・・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・	業時数 ・実習・実対の授業時数) 位数 ・実習・実対位数 ・実習・変	の授業時数	T-AM-YURL	0 600 1,710 0 600 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時奏 立数単位数 での担修等する で見りを考する	る算定 うち企企業等 巻 担	等と連携した実 等と連携した 受業時数 うち企業等と 素等と連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した を表する。 をまずる。 を表する。 をまる。 を表する。 をまる。 を、。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	演習の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの計 ・実技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学なの実験 ・大学なの ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	業時数 ・実習・実数 の授業時数) 位数 ・実習・実技 位数 ・実質の数 ・実質の数	カ の授業時数	T-AM-YURL	0 600 1,710 0 600 0)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれ況	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時数 立数による3 総単位数	る算定 うち企企業等 巻 担	等と連携したま を要素的数 うち企業等と を要素をと連携したま うちと連携したま をを連携したま ををを要さる。 を要素をと ををとをできる。 を表示すると を表示する を表示す を表示する	演習の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの計 ・実技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学なの実験 ・大学なの ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	業時数 ・実習・実数 の授業時数) 位数 ・実習・実技 位数 ・実質の数 ・実質の数	の授業時数	T-AM-YURL	0 600 1,710 0 600 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれ況	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時数 が数による 3 総単位数 での担格業と でも考える。	る算定 うち企企業等 巻 担	等と連携したま を要素的数 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	演習の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの計 ・実技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学なの実験 ・大学なの ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	業時数 ・実習・実技 か授業時数) 位数 ・実習・実技 位数 ・実性位数 (専修学	の授業時数	(マームページURL) (現第1号) (関第1号) (関東 の表現を関東的などの対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	0 600 1,710 0 60 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいた)	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業 時養 数による 3 総単位数 「① 専担等業とである」 できまる 2 学士 の	る算定 うち企業等等 括 うち企业修修 括 うちを企動 (うちを企動) うちを企動 (うちを企動) うちを企動 (うちを企動) うちを企動 (うちを) 「うちを企動) 「うちを企動) 「うちを企動) 「うちを (大) の (大)	等と連携したま 等と連携したま 要要等をと 要要等をと ま等とと をとと をとと をとと をとと をとと をとと をとと	演習の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの計 ・実技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学なの実験 ・大学なの変形 ・大学なの ・大学な ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	業時数 ・実習・実材 が受業時数 位数 ・実習・実材 の単位数 (専修学	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第11	(マームページURL) (事第1号) (事第2号)	0 600 1,710 0 60 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等と連携した況 企業習等と連携が祝か に記入)	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac な時間による 総授業時 数による 3 総単位数 「でそ程年以上・士・ヴィース できる 3 高等 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1	る算定 うちなのでは、	等と連携した実演 等と連携した実演 ラちな企業等と を選携したた では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	演習の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの計 ・実技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学なの実験 ・大学なの変形 ・大学なの ・大学な ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・変形を表現の ・実習・変形を表現の ・実理を表現の ・実際を学 ・実技の ・実際を学	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	(デームページURL) (事第1号) (事第2号) (事第3号)	0 600 1,710 0 600 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 企業等等と連携状況 (A、BIJ)	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時費 が出撃とよっ でも変更している。 では、よる のは、よる のは、よる のは、よる のは、よる のは、また。 のは、また。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る算定 うちたの必 うちたの必 を する うちたの必 を する うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの	等と連携した実演 等と連携した実演 ラちな企業等と を選携したた では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	演習の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの計 ・実技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学なの実験 ・大学なの変形 ・大学なの ・大学な ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技位数 の授業時数) (専修学 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	(京一ムページURL) (事第1号) (事第2号) (事第3号) (事第4号)	0 600 1,710 0 600 0	単位時間 1単位時間 1単位時間 1単位時間 1単位時間 1単位時間 1単位時間 1単位 単位 単位 単位 単位 単位 上 <td></td>	
ホームページ URL 企業等と連携した況 企業習等と連携が祝か に記入)	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac な 対	る算定 うちたの必 うちたの必 を する うちたの必 を する うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの	等と連携した実演 等と連携した実演 ラちな企業等と を選携したた では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	演習の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの計 ・実技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学なの実験 ・大学なの変形 ・大学なの ・大学な ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技位数 の授業時数) (専修学 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	(京一ムページURL) (事第1号) (事第2号) (事第3号) (事第4号)	0 600 1,710 0 600 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 上 人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	
ホームページ URL 企業等を連携した況か に記入)	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時費 が出撃とよっ でも変更している。 では、よる のは、よる のは、よる のは、よる のは、よる のは、また。 のは、また。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る算定 うちたの必 うちたの必 を する うちたの必 を する うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの	等と連携した実演 等と連携した実演 ラちな企業等と を選携したた では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	演習の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの計 ・実技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学なの実験 ・大学なの変形 ・大学なの ・大学な ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技位数 の授業時数) (専修学 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	(京一ムページURL) (事第1号) (事第2号) (事第3号) (事第4号)	0 600 1,710 0 600 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位)人 人 人 人 人	
ホームページ URL 企業等と連携した深 実で、の実施状況か に記入)	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac な 対	る算定 うちたの必 うちたの必 を する うちたの必 を する うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの うちたの	等と連携した実演 等と連携した実演 ラちな企業等と を選携したた では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	演習の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実技の授: 時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの計 ・実技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学技の単位 ・大学なの実験 ・大学なの変形 ・大学なの ・大学な ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	業時数 ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技位数 の授業時数) (専修学 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	(京一ムページURL) (事第1号) (事第2号) (事第3号) (事第4号)	0 600 1,710 0 600 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 上 人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	
ホームページ URL 企業等と連携した深 実で、の実施状況か に記入)	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時数 による 総数による 3 総単位数 (1) 専担修会 と 士 の で	る第	等と連携したま 等と連携したま を受要するなと を要要するなと を要した を要した を要した をとととを をととして を要した。 をととして、 をととして、 を要した。 を要した。 をととして、 を要した。	演習の授業 は、主に、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・実技の授: ・実技の授: ・学技の授・ ・学技の単・ ・実技の単・ ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技術を表による。 ・大学ななる。 ・大学ななる。 ・大学なる。 ・大学なる。 ・大学ななる。 ・大学ななる。 ・大学なる。 ・大学ななるなななななななななななななななななななななななななななななななななな	業時数 ・実習・実数 ・変響・数 位数 ・実質を対 を変響を数 ・変響を数 ・変形を対 ・変	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	項第1号) 項第2号) 項第3号) 頁第4号)	0 600 1,710 0 0 600 0 0 0 0 0 0 1 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位は時間 単位は時間 単位は中間 単位は単位は 単位は 単位 単位 単位 単位 十分 人人 人人 人人 人人 人人 人人 人人 一 日 村 田 村 田 村 田 日 日 日 日 日 日 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日	
ホームページ URL 企業等と連携した深 実で、の実施状況か に記入)	(A:単位 (B:単位	ww.amg.ac 立時間による 総授業時数 による 総数による 3 総単位数 (1) 専担修会 と 士 の で	る第	等と連携したま を要素をと連携したま うちを連携したま うちを連携したたま うちを連連携したたま うちを連連携したたま うちと連連携したたま ををとをできまするとは、 なのでである。 はいまするとは、 なのでである。 はいまするとは、 はいまなとは、 はいまなとはなななななななななななななななななななななななななななななななななな	演習の授業 は、主に、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・実技の授: ・実技の授: ・学技の授・ ・学技の単・ ・実技の単・ ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技の表による。 ・大学技術を表による。 ・大学ななる。 ・大学ななる。 ・大学なる。 ・大学なる。 ・大学ななる。 ・大学ななる。 ・大学なる。 ・大学ななるなななななななななななななななななななななななななななななななななな	業時数 ・実習・実数 ・変響・数 位数 ・実質を対 を変響を数 ・変響を数 ・変形を対 ・変	の授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第11	項第1号) 項第2号) 項第3号) 頁第4号)	0 600 1,710 0 0 600 0 0 0 0 0 0 1 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 上 人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針キャラクターデザイン学科は、市場のニーズが高いキャラクターデザイン分野において、現役のキャラクターデザイナーやイラストレーターを講師として招聘し、基礎となる作画・デザイン能力の習得を基盤に、最新の市場状況や制作手法を教育課程に反映することを基本方針としている。具体的には、デッサンや水彩など古典的な手法を習得しつつ、最新のデジタル作画ソフトウェアを使用した作品制作を教育課程に取り入れている。また、イラストレーション、ゲーム、アニメ、キャラクター商品など、幅広い業界のキャラクターデザイン分野で活躍するための知識の習得を重視し、実践的かつ創造力豊かな教育課程を目指している。

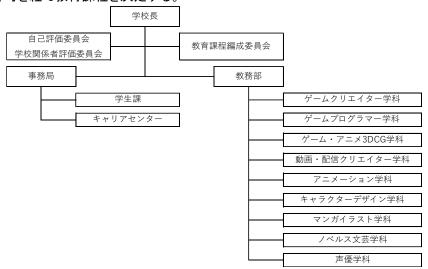
(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会では、現役のキャラクターデザイナーやイラストレーターなどの専門家を委員として招聘し、業界との 緊密な連携を図ることで、最新の業界状況を反映した実践的な教育方針を策定している。これにより、即戦力としてイラスト レーション、アニメ、ゲーム、グッズなどの業界で活躍できる人材の育成を目指している。

「教育課程編成委員会」は「自己評価委員会」「学校関係者評価委員会」と共に、学校長が統括をする。教育課程に関する 意思決定については、以下の通りと定める。

- ·教育課程編成委員会は学科ごとに選出·委託された企業等委員と、業界団体等委員、教務部長·各学科担当者で構成される。
- ·委員会で各学科のカリキュラムに対し産業界側から出た評価と提言を意見を参考に、教務部で教育課程への反映が検討される。
- ・最終的に学校長の許可を経て教育課程を決定する。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
香川悟	一般社団法人デジタルエンターテインメントクリ エイター協会 理事	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	1
生島久也	一般社団法人マナベル	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	1
島田健人	株式会社クロスプラススタジオ 開発部 部長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
高橋沙紀	株式会社亀 3Dデザイナー	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
時本伸一	株式会社BURG 映像制作部 総括主任	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
中野裕紀	株式会社EMTスクエアード 作画部 部長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
武山紀彌	有限会社メルヘンズ 取締役社長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
松田昌子	株式会社UーNEXT アニメ・ブック事業本部マンガ編集事業長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
木尾寿久	株式会社エレファンテ	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
北川隆一	劇団しし座 代表/関西俳優協議会 顧問	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3

内海賢太郎	株式会社賢プロダクション 代表取締役	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
森憲司	大阪アミューズメントメディア専門学校 学校長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	_
下間正巳	大阪アミューズメントメディア専門学校 副校長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	_
中島正貴	大阪アミューズメントメディア専門学校 教務部 長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	_
脇功一	大阪アミューズメントメディア専門学校 教務副 部長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月28日 17:30~19:00 第2回 令和6年12月4日 17:30~19:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

アニメ制作、イラスト制作における、生成AIの活用状況と、教育課程への反映について委員にご意見を伺った。 〇メリット

創造性の刺激:AIが生成する多様なアイデアや構図を参考にすることで、学生の創造性や発想力を高めるきっかけになる。 効率的な学習:構図の参考や資料探しなど、制作の補助として活用することで、効率的に学習を進めることができる。 ○デメリット

判断力・スキルの低下: AIに頼りすぎると、学生自身で構図や表現方法を考える機会が減り、創造的なスキルや判断力が 育たない可能性がある。

倫理的課題:AIが生成した画像を無断で利用したり、AIの著作権について正しく理解しないまま使用したりすることで、法的な問題や倫理的な課題に直面するリスクがある。

日本の風潮:著作権や炎上リスクへの懸念から、日本の教育現場や学生の間では、AIの活用に慎重な姿勢が見られる。

生成AIの上記メリット・デメリットを教育に活用し、学生の創造性の刺激や学習効率の向上を図る一方で、AIへの過度な依存によるスキル低下や、著作権などの倫理的課題に対するリテラシー教育も並行して検討していくこととなった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実社会で即戦力となる人材へと成長するため、企業等と連携した実習・演習を積極的に実施し、対象とする業界・職業における実践的な能力育成を目指す。これにより、業界の標準技術や最新技術に触れ、実践的なスキルを習得することで、卒業後の円滑な社会への移行を支援するとともに、業界が求める人材育成に貢献する。

企業との連携は、企業からの講師や指導担当者の派遣、共同指導、企業提供の教材を用いた授業など、多様な形式で実施する。実施に際しては、本校の学科担当者が企業の担当者と連携して行う。

実施後は、学科担当者および教育課程編成委員会において内容を検証し、改善に努め、業界標準の価値基準を維持・更新する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本学科では、企業から派遣された講師の監修指導を受け、学科担当者と企業が連携して実習・演習にあたる。

①実習・演習内容の決定

企業から派遣された講師が、業界基準として求められる内容を監修し、学科担当者と連携して実習・演習のゴールを設定す る

②実習・演習実施

実習・演習は教室内で実施される。企業から派遣された講師が継続的にアドバイスを提供しながら、学科担当者と連携して 実習・演習を進める。

3評価

学修成果の発表を行い、企業から派遣された講師が作品の講評および評価を行う。

企業から派遣された講師の評価を元に、学科担当者が出席率など総合的な成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

_					
	科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等	
		の講師が全ての授業	デザインやキャラクターを3Dと組 み合わせる方法やWebや映像へ のアウトプットの方法を学ぶ。	有限会社スタジオ・オーズ	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学校法人吉田学園教員研修規程第1条に定める通り、企業等と連携して、専攻分野における実務に関する知識、技術及び 技能並びに、指導力等の修得・向上を目的とし、専攻分野における実務について研修を行うことで、最新の業界の事情や ニーズを把握し、教育に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

Yostar × COYOTE 3DCG STUDIO ブルーアーカイブー 株式会社クリーク・アン

Blue Archive-モデリング制作 ~こだわりの開発について 連携企業等: 研修名: ド・リバー社

アニメーション学科、 期間: 令和6年8月29日 対象: キャラクターデザイン 学科所属の専任教員

キャラクターモデリング、セットアップ制作の開発について

・キャラクターを作る前準備 適した作り方とキャラの深掘りについて 内容 キャラクターの顔モデリングについて

ブレンドシェイプ作成時のこだわり~いきいきとした表情をつくるには?

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等:グボーン 虹色ダ 研修名: 「LGBTQの理解と対象学生への対応」 イバーシティ

令和6年7月5日 対象: 全教職員 期間:

・LGBTQの基礎知識と理解 ・対象となる学生への対応

内容 大阪市内のLGBTQセンター(プライドセンター)紹介

質疑応答

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

画像生成AI活用術!プロが教えるビジネス現場でのAI画 株式会社クリーク・アン 連携企業等: 研修名:

ドリバー社 像作成法と実践活用法

キャラクターデザイン 令和7年6月26日 対象: 期間:

学科 教職員

・AI画像の著作権や利用ルールについて ・生成AIを業務に導入におけるリスクについて 内容

・AI画像を扱う際の注意点や判断基準について

②指導力の修得・向上のための研修等

「ハラスメントの防止~感性をブラッシュアップしよう~」 連携企業等: 大阪府人権擁護士 研修名:

期間: 令和7年5月9日 対象: 全教職員

1 共通基盤づくり

・アクティビティ「これはハラスメントになるの?」(参加者の価値観を共有する)

※3つのケースに登場する行為者が持つ思い込みについて考える。

内容 2 意見交換

・アクティビティ「これはハラスメントになるの?」において、グループで意見交換をした内容を全体共有して

価値観の共有を図る。

⇒ケースごとに解説とふりかえりを行う。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価の結果を学園の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営の改善を行う。学校評価委員会で得られた評価結果を参考に、学校長以下、事務局、教務部による学校 運営施策策定を行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」 σ	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	1-1-1.理念・目的・育成人材像は定められているか 1-1-2.学校における職業教育の特色は何か 1-1-3.社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
(2)学校運営	2-1-1.目的等に沿った運営方針が策定されているか 2-2-1.教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	3-1-1.学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか 3-1-2.キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや 教育方法の工夫・開発などが実施されているか 3-1-3.関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか 3-1-4.関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか
(4)学修成果	4-1-1.就職率の向上が図られているか 4-2-1.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 4-2-2.卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
(5)学生支援	5-1-1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか 5-2-1.学生に対する経済的な支援体制は整備されているか 5-2-2.退学率の低減が図られているか 5-3-1.保護者と適切に連携しているか
(6)教育環境	6-1-1.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 6-1-2.学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 6-1-3.防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	7-1-1.学生募集活動は、適正に行われているか 7-1-2.学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確 に伝えられているか 7-1-3.学生納付金は妥当なものとなっているか
(8)財務	8-1-1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 8-2-1.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 8-3-1.財8務について会計監査が適正に行われているか 8-4-1.財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	9-1-1.自己評価の実施と問題点の改善を行っているか 9-1-2.自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	10-1-1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

11-1-1.留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っ ているか

11-1-2.留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等 がとられているか

11-1-3.留学生の学習・生活指導等について学内の適切な体制が整理 されているか

(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会にて、本校の教育運営活動を「専修学校における学校評価ガイドライン」の1項目ごとの課題などに ついて意見を交換している。

■留学生の受け入れと教育環境整備の状況

委員より留学生受け入れ体制の充実を求める意見をいただいた。

交流イベントを開催し、留学生および日本人学生との関係構築を支援していく方針。

今後は就職活動や進路選択の支援が課題となるため、教職員は指導体制を強化し、必要な知識と対応力を身につけてい

■学生のメンタルケアに関する取り組みの概要

委員より、学生のメンタルケア体制を強化すべきとの意見をいただいた。

「保健衛生課」を設置し、人権擁護専門をアドバイザーに迎えて、学生のメンタルケア体制を強化した。 アドバイザーからの専門的な助言を通じ、教職員側にも学びと意識向上の場を設ける方針。

■学校教育法改正への対応と単位制度の整備

大学への編入や他専門学校との連携にも関わるため、内部制度の整備と運用ルールの明確化する。 これを来年度から令和8年度にかけての重点課題として準備を進めていく方針。

■授業評価アンケートの実施と今後の方針

委員より、学生アンケートの必要性と実施すべきとの意見をいただいた。

授業ごとの状況把握と改善を目的とした科目別授業評価アンケートを新たに実施した。

アンケートを定例化し、毎年同時期に実施することで、継続的な教育改善に役立てていく方針。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
赤松加枝子	大阪放送株式会社 コンテンツプランニング本	令和6年4月1日~令和8年3	企業等委
	部 プランニング部長	月31日(2年)	員
藤井美樹	株式会社 KINSHA 界グラフィックススタジオ	令和7年4月1日~令和9年3	企業等委
	人事課	月31日(2年)	員
山光咲良	株式会社 アクロス エンタテインメント 所属声優	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	卒業生
辻井安喜	学校法人 浪工学園 星翔高等学校 常務理事·校長	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	高校関係
益満俊彦	株式会社共立メンテナンス 寮事業本部 関西支店 支店長	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	地域住民
小林俊一	株式会社アミューズメントメディア総合学院	令和7年4月1日~令和9年3	企業等委
	AMG出版 出版プロデューサー	月31日(2年)	員
鶴圭太	ジャパントータルエンターテインメント株式会社	令和7年4月1日~令和9年3	企業等委
	取締役	月31日(2年)	員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・)広報誌等の刊行物・ その他())

https://www.amg.ac.jp/syllabus/2025/pdf/e_school.pdf?250701 URL:

公表時期: 令和7年6月30日 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

文部科学省の公開する「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、本校が設定する 項目についてホームページ 上で広く一般に公開するものとする。 連携および協力する企業等の学校関係者に対してもホームページ上で公開している 情報を提供するとともに、学校関係者評価委員会や 教育課程編成委員会等の委員会を通じて本校の学校運営の状況に ついて情報を提供するものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	対するカイドライン」の次日との方心
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、学校の沿革、歴史、特色
	シラバス、進級・卒業の要件等
(3)教職員	教職員数(職名別)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、就職支援等への取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い、活用できる経済的支援措置の内容
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.amg.ac.jp/about/ 項目(1)

URL: https://www.amg.ac.jp/syllabus/項目(2)、(3)、(8)、(9)

https://www.amg.ac.jp/careercenter/ 項目(4)

https://www.amg.ac.jp/school-infomattion/項目(5)、(6)

https://www.amg.ac.jp/seido/ 項目(7)□

<u> 令和7年6月30日</u> 公表時期:

授業科目等の概要

				で養専門課程 キ	ーャラクターデザイン学科)											
		分類							授	業プ		場	所	教	員	
		択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	位	講義	演習	実験・実習・実技		校外			企業等との連携
1	0			CGI	デジタルペイント技術と活用法を学ぶとと もに、より効果的な画像表現を学習する。	1 • 通	60	2		0		0			0	
2	0			デザイン基礎	Illustratorの特性・操作性を理解するとともに、商品の制作プロセスを基準にテーマに沿って企画からデザイン、完成までのプロセスを経験し、プレゼン発表する。	1 · 通	60	2		0		0		0		
3	0			デッサン I	基礎的な形の理解と表現技術を学び、的確 に観察・描写する力を育成する。	1 • 通	60	2		0		0			0	
4	0			CGI	テーマ設定を伴うデジタルイラストの作成 を通し、入稿に伴う制作の基礎知識につい ても学ぶ。		60	2		0		0			0	
5	0			エクステン	出版・イラスト・デザイン・ゲーム業界を 中心に様々なゲストにより、時代に求めら れる新しい技術やクリエイター像を学ぶ。	1 • 通	120	4		0		0		0		
6	0			キャラクター 設定	キャラクターの役割や魅力の分析を通して キャラクターを創造する力を養う。	1 • 通	30	2	0			0			0	
7	0			キャラクダー	様々な生物の基本描画を身につけつつ、印 象に残るキャラクター・モンスターの表現 方法を学ぶ。		60	2		0		0			0	
8	0			キャラクター ビジネス I	ビジネスマナーを学びながらクリエイター として自己のアプローチ方法やプレゼン テーション方法を習得していく。		45	3	0			0			0	
9	0			キャラクター 論	キャラクターの発想を理論的に学ぶと共に アイディアを具体化するための演出法・描 写の基礎を学習する。		60	2		0		0			0	
10	0			デザイン実習	実際の商品をイメージした作品を制作し、 説得力のあるデザインを学ぶ。	1 • 通	60	2		0		0			0	
11	0			デッサンⅡ	より複雑な形状や人体の形状、質感の表現 技術を学び、的確に描写する力を育成す る。		60	2		0		0			0	
12	0			画材研究	様々なアナログ画材を使用することにより、イメージの表現方法の幅を広げる。	1 · 通	60	2		0		0			0	

13	0		描画 I	描写の基礎トレーニングを行い、基礎画力 を上げる練習法を学ぶ。	1 • 通	120	4		0		0		0		
14	0		CGII	デジタルペイントとオリジナルイラストの制作技術の習得する。各自に課題を持ち、 クオリティの高い作品制作に取り組む。	2 · 通	60	2		0		0			0	
15	0		キャラクター デザインⅡ	世界観のあるキャラクターを創造するため、徹底した描写力と表現力を身につける。		60	2		0		0			0	
16	0		マーケティン	クリエイターとして、キャラクターを市場に売り込むための分析を行い、求められる作品・商品開発を学習する。		60	2		0		0			0	
17	0			イラストレーターとして複数のメディアで作品発表できるスキルを身につける	2 • 通	60	2		0		0			0	0
18	0		デッサンⅢ	デッサンの作品利用法を学ぶことで表現の幅を広げる。また人体を観察することでキャラクター作りに活かす。		60	2		0		0			0	
19	0		エクステン	過去の優れた作品を通して表現研究をするとともに、業界におけるニーズをより理解し、時代に求められる新しい技術やクリエイター像を学ぶ。	<u> </u>	120	4		0		0		0		
20	0		キャラクター ブランディン グ	自分自身の魅力と強みを分析し、業界や市場への発信に繋げていく姿勢を学ぶ。	2 • 通	30	2	0			0			0	
21	0			企業の具体的実例からキャラクタービジネスとマネージメントを学ぶ。	2 · 通	45	3	0			0			0	
22	0		デザイン応用 Ⅱ	イラストレーターとして複数のメディアで作品発表できるスキルを身につけ、WEBサイトを作成する。	2 • 通	60	2		0		0			0	
23	0		デッサンⅣ	長時間のデッサンを描くことで、作品制作 の忍耐と向上心を鍛える。	2 · 通	60	2		0		0			0	
24	0		描画Ⅱ	よりキャラクターを魅力的に描くためのホイントを課題制作を通して学ぶ。	2 · 通	120	4		0		0		0		
25	0		卒業制作 I	企画書に基づき、作品制作、展示会の運営 を行い、作品販売を経験する。	2 · 通	60	2		0		0			0	
26	0		卒業制作Ⅱ	2年間の集大成として、商品としての作品を完成させる。企画書に基づき、作品制作、展示会の運営を行い、作品販売を経験する。		60	2		0		0		0		
		合	<u> </u>	26	· 杉	·目			62 (1710)	単位	立 (単位	時間	1)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 卒業該当学年の学年末に卒業認定会議を開催し、62単位以上の取得が	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 1年次:全科目必修(31単位、855単位時間)	1 学期の授業期間	17 週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。